学校番号	408

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	国語演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「国語必携　パーフェクト演習　三訂版」　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業中は三つの対話（教材との対話・自分との対話・他者との対話）に取り組みましょう。
・失敗や間違いこそ大事な学びです。普段の授業は練習試合、一緒に学ぶクラスメイトはライバルであり、チームメイトでもあります。協働しながら、学びを深めていきましょう。
・学んでいったことから、更に自ら問いを立てながら、学びを広げていきましょう。読書は皆さんの世界を広げるための大きな手段となります。
・授業の中のみならず、皆さんの周りにある普段の「言葉」から意識を向けてみましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
我が国の歴史の中で継承されてきた言語文化の持つ価値を認識した上で、常用漢字を正しく読み書きし、実社会に必要な語句や語彙を用い、文章の効果的な組み立てや接続の仕方、修辞を理解して表現に活かすことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
実社会における他者との多様なかかわりの中を想定し、情報を論理的に組み合わせて自らの主張を表現でき、伝えたいことが伝わるような工夫された文章を作成したり、伝えあったりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
国語の学びを通して、言葉の持つ価値への認識を深め、自らの言語感覚を磨いた上で、読書に親しみながら、他者との関わりの中で、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の中で継承されてきた言語文化の持つ価値を認識した上で、常用漢字を正しく読み書きし、実社会に必要な語句や語彙を用い、文章の効果的な組み立てや接続の仕方、修辞を理解して表現に活かすことができている。	実社会における他者との多様なかかわりを想定し、情報を論理的に組み合わせて自らの主張を表現でき、伝えたいことが伝わるような工夫された文章を作成したり、伝えあったりすることができている。	国語の学びを通して、言葉の持つ価値への認識を深め、自らの言語感覚を磨いた上で、読書に親しみながら、他者との関わりの中で、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	単元A1「作文」 ～書き言葉で自分を伝えよう ［教材］表現編1～8	a：書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができている。 b[書]：目的に応じて、適切な題材を決め、伝えたいことを明確にし、表現を工夫して書くことができている。 c：自らの言語感覚を磨こうとし、他者との関わりの中で、自己について、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。	定期考査	定期考査	レポート
	単元A2「面接」 ～話し言葉で自分を伝えよう ［教材］実用編1・2・6	b[話/聞]：自己について伝えたいことを決め、情報を収集整理して、話の構成や展開を工夫し、話すことができている。 c：自らの言語感覚を磨こうとし、他者との関わりの中で、自己について、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。		面接試験	面接試験 レポート
	単元B1「国語常識1」 ～自分の言語感覚を磨こう ［教材］基礎編1～4、発展編1～4、実践編1～4	a：自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにできている。	定期考査		
二学期	単元A3「電話・メール」 ～実社会を想定して表現しよう1 ［教材］実用編1・2・4 付録2	a：話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けることができている。 b[話/聞]：目的や場に応じて伝えたいことが伝わるよう、話の構成や展開を工夫することができている。 c：自らの言語感覚を磨こうとし、他者との関わりの中で、言葉を通じて、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。	定期考査	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞ	レポート
	単元A4「プレゼン」 ～実社会を想定して表現しよう2 ［教材］	b[話/聞]：自分の主張が伝わるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに話の構成や展開を工夫し、資料や機器を効果的に用いて、相手の同意や共感が得られるよう表現を工夫することができている。 c：自らの言語感覚を磨こうとし、他者との関わりの中で、言葉を通じて、ものの見方や感じ方、考え方を深めようとしている。		プレゼン	プレゼン レポート
	単元B2「国語常識2」 ～自分の言語感覚を磨こう ［教材］基礎編5～8、発展編5～8、実践編5～8	a：自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにできている。	定期考査		
三学期	単元A5「手紙」 ～実社会を想定して表現しよう3 ［教材］表現編1・2 実用編1～3	b[書]：読み手の共感が得られるよう、文章の構成や展開を工夫することができている。 c：自らの言語感覚を磨こうとし、他者との関わりの中で、言葉の持つ価値について認識を深めようとしている。		定期考査	レポート
	単元B3「国語常識3」 ～自分の言語感覚を磨こう ［教材］基礎編9・10・整理、発展編9・10・整理、実践編9・10・整理	a：自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにできている。	定期考査		

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　３５　）時間

・書くこと　…　（　３５　）時間